



車内の金城学院大学

41限目

「ドイツ語文化入門」

## 「バウムクーヘンには意外な歴史がある!？」

[ドイツと日本の文化交流]

日本でも大変人気のあるお菓子、バウムクーヘンは、第一次世界大戦時のドイツ人捕虜によって日本に伝えられたものなのです。日本は中国大陸でドイツと交戦し、多くのドイツ人捕虜を日本に連れ帰りましたが、捕虜に対し非常に丁寧で友好的な対応をとり、いくつかの捕虜収容所では地元住民との交流も生まれました。ドイツ人捕虜には様々な職業の人がいて、広島県では彼らが作った作品の展示即売会「ドイツ作品展示会」も開催されました。この時、捕虜の一人であった菓子職人のカール・ユーハイム氏は初めて日本でバウムクーヘンを焼き、展示会では大変人気を博したと言われています。言葉や文化、立場の違いを乗り越えた国際交流によって生まれたものは、現在の私たちの暮らしの中にしっかりと息づいているのです。

言葉や文化を越え、心を理解しあう。それが文学部 外国語コミュニケーション学科。

8/18(土)・9/15(土)  
オープンキャンパス開催!

2013年4月スタート!  
文学部 音楽芸術学科

強く、優しく。



金城学院大学